

令和2年度
社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会
事業報告書



泉大津市社会福祉協議会イメージキャラクター

ハートちゃん

社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会

令和2年度 社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、二度の緊急事態宣言が発出されたこともあり、病床の逼迫、失業者数の増加、景気の低迷等、あらゆる面で国民の生活に深刻な影響を及ぼしました。

このような中、本協議会では、外出自粛期間が長期に亘っていることを受け、それぞれの地域で年間を通して友愛訪問を実施するとともに、買い物支援も継続して行いました。さらに、大阪府の外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業の一環として、友愛訪問とすこやか訪問の対象者に対し、令和2年4月末から5月初めにかけて見守り安否確認と特殊詐欺防止の啓発、6月からはマスク不足解消のためマスクボランティアによるマスクづくりを開始し、完成した手づくりマスクを8月に配布、また12月には友愛訪問の対象者向けにコロナ禍で健康不安がないか等のアンケート調査を実施しました。

一方、地域の活動では、市内全域で公共施設等の利用制限が掛かったことを受けて、福祉のつどい等といった多人数が集まる地区全体の交流事業、また屋内での活動が今まで通り実施することが困難な状況に追い込まれる中で、安心・安全に地域福祉活動が実行できるよう地区福祉委員会活動における『新しいルール』と題し、それぞれの活動ごとに感染対策を施したガイドラインを作成しました。

また、長引くコロナ禍の影響で勤務日数の減少や失業等を余儀なくされ、生活が困窮する世帯が増えたことにより、生活福祉資金貸付制度における特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）の相談件数が4,000件を超えました。これを受けて生活困窮世帯に対しては、自立相談支援機関と連携しながら支援を行いました。更にこのような生活困窮世帯を対象とした施策として、ダイエーマルナカ泉大津店（令和2年10月開始）とKOHYO泉大津店（令和3年2月開始）の協力を得て、フードドライブ事業及び日用品ドライブ事業を実施し、生活困窮者の自立支援と食品ロスの削減に取り組みました。

その他、重点目標の取り組みについては以下の通りです。

＜重点目標の取組事項＞ ～各重点目標は活動計画の一部を引用～

1. 福祉意識の向上

地域住民、学校、就学前施設などとの連携により、福祉の理解やノーマライゼーションが浸透できるような、福祉教育の推進に努めるとともに、地域での交流活動に取り組みました。

(1) 夏休みボランティア活動体験学習会

ボランティア活動につながるきっかけづくりとして、幼稚園児・小学生・中学生を対象に障がいの理解とともにボランティア活動を体験する機会の提供

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

(2) 小学校でのボランティア体験学習指導

小学校において手話や点字を学習する機会をボランティア連絡会の協力のもとで実施

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

(3) 世代間交流活動・福祉のつどいの実施

小地域ネットワーク活動のグループ援助活動において、地域の子どもから高齢者まで世代間での交流活動や地域住民が集えて学習できる福祉のつどいを実施

① 世代間交流

戎地区:1回 37人

旭地区:1回 14人

② 福祉のつどい

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止



2. ボランティア及び市民活動の育成

近所づきあいやつながりを強化していくことは、孤立死や虐待などの防止につながるなど、非常に重要であることから、顔の見える機会を作るなど、身近な地域でのつながり強化に取り組みました。

(1) ボランティア体験プログラムの充実

福祉活動のきっかけづくりのため様々な団体と連携してボランティア体験プログラムや体験学習を充実

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

(2) 新たな啓発方法や内容の検討

社協広報紙やホームページなども活用しながら、新たな啓発方法や啓発内容を検討

(3) ボランティアサロンなど活動の場の充実

ボランティア連絡会や登録ボランティアグループ等の連携によるボランティアサロンなど活動の場の充実

① ボランティアサロン「ハートちゃん」

- ・実施日 6/23、7/28、8/25、10/27、3/23、3/31
- ・場所 総合福祉センター4階ボランティアルーム
- ・内容 介護予防体操、小物づくり
- ・利用者数 67人

② ボランティアサロン「日曜ハートちゃん」

- ・実施日 3/28
- ・場所 総合福祉センター3階 第一会議室
- ・内容 小物づくり
- ・利用者数 8人



③ ボランティアサロン（ふれあい風街）

- ・実施日 7/29、9/16、9/30、10/21、11/18、3/17、3/31
- ・場所 中央商店街 風街
- ・利用者数 61人

3. 小地域ネットワーク活動の推進

近所づきあいやつながりを強化していくことは、孤立死や虐待などの防止につながるなど、非常に重要であることから、顔の見える機会を作るなど、身近な地域でのつながり強化に取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により各地区推進会の事業及び会議等は中止となりました。

(1) 小地域ネットワーク活動地区推進會

- ① 小地域ネットワーク活動宇多地区推進會
- ② 小地域ネットワーク活動旭地区推進會
- ③ 小地域ネットワーク活動楠地区推進會
- ④ 小地域ネットワーク活動浜地区推進會

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響により地区推進会の事業及び会議等は中止

(2) 小地域ネットワーク活動地区推進会設置に向けた取組

① 小地域ネットワーク活動穴師地区推進会準備委員会（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ・婦人会・子ども会・自主防災組織・防犯委員会・穴師小学校）

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響により地区推進会の事業及び会議等は中止

② 戎地区 4 団体（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ）
代表者会議

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響により地区推進会の会議等は中止

③ 上条地区 4 団体（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ）
合同会議

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響により地区推進会の会議等は中止

4. 福祉サービスの提供と質の向上

社協の取組や事業、活動内容、サービスについて周知し、必要な人にサービスが行き届くよう取り組むとともに、サービスの質の向上に取り組んでいきます。また、財政を安定にすることで財政ビジョンを明確にします。

(1) 介護予防活動（ステップアップスクール社協）の普及

介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービス A（緩和型）として、事業対象者、要支援 1・2 の認定者を対象に介護予防体操や運動を行うことにより、介護状態の重度化を防止し、利用期間終了後に地域で活動できるように支援を行った。

〈介護度別利用登録者数〉

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	13	13	14	16	13	20	25	23	22	19	17	6	201
要支援 1	3	3	5	5	4	4	4	3	2	1	1	0	35
要支援 2	1	1	3	3	2	1	1	1	0	0	0	0	13
合計	17	17	22	24	19	25	30	27	24	20	18	6	249

〈介護度別延べ利用者数〉

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	14	23	35	47	34	56	69	57	53	38	41	16	483
要支援 1	5	7	14	22	12	10	11	8	13	7	7	0	116
要支援 2	2	3	7	7	6	3	3	4	1	4	3	0	43
合計	21	33	56	76	52	69	83	69	67	49	51	16	642

※ステップアップスクール社協受託事業は、今年度で終了となるも既存のつどい自主グループ後方支援や新たな自主グループ立ち上げ支援は生活支援体制整備事業として、引き続き実施していく。

(2) 寄附文化の推奨と自主財源の確保

各種イベント等での啓発活動を実施。社協会員の増加。

〈会員会費納入実績〉

種別（会費額／1口）	件数	口数	金額(単位：円)
住民会員（500円/1口）	192	308	154,000
賛助会員（500円/1口）	22	31	15,500
賛助会員（1,000円/1口）	84	1,737.0	1,737,000
組織構成会員（5,000円/1口）	40	115	575,000
合計	338	2,191.0	2,481,500

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域のイベントや各種団体の総会等が中止となったため、適宜、各種団体の役員会や幹事会等で啓発を行い会員増強に努めた。

4. 防災対策の充実

台風や地震などの災害発生時、緊急に対応できる体制を市民と連携しながら強化を図るとともに、市民・団体への意識付けを行いました。

(1) 地域のネットワークづくりに向けた防災の講演会の検討会議

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催見合わせ

(2) 地域のネットワークづくりに向けた防災の講演会(ボランティアフォローアップ研修会)

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催見合わせ

